

## 2009年度第2四半期累計は減収減益

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）の2009年度第2四半期累計期間（2009年4月1日から2009年9月30日）の連結決算は、売上高が前年同期比21.3%減の2,021億円となった。タイヤ事業は主力の日本、欧米市場の需要が弱く販売減となった。MB事業も需要低迷が響き、ホース配管、コンベヤベルト、シーリング材、航空部品の販売が落ち込んだ。

営業利益は24億円の赤字（前年同期は56億円の黒字）、経常利益は37億円の赤字（前年同期は38億円の黒字）、四半期純利益は39億円の赤字（前年同期は6億円の黒字）となった。コスト削減は進んだものの、売り上げの落ち込みに加え、販売量の減少に伴うタイヤやホースの操業度低下が利益を圧迫。為替レートがドルやユーロに対して円高に推移したことも利益を押し下げる要因となった。

タイヤ事業は売上高が前年同期比19.5%減の1,560億円、営業利益は25億円の赤字（前年同期は32億円の黒字）。MB事業は売上高が前年同期比26.7%減の460億円、営業利益が同93.6%減の2億円だった。タイヤ、MB事業ともに売り上げ減に加え、操業度の低下や円高が影響し減益となった。

2009年度通期の連結業績予想は、売上高を前期比10.1%減の4,650億円に引き下げる。上期の売り上げ減が響き、2009年5月に発表した前回予想を250億円下回る。しかし、引き続きコスト削減などの内部改善に取り組み、営業利益は前期比32.7%増の170億円、経常利益は同116億円増の120億円、当期純利益は同127億円増の70億円に据え置く。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）広報部 担当：山口 石塚  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570

決算ハイライト

(百万円)

	2009年度 第2四半期累計 (2009.4.1~2009.9.30)	2008年度 第2四半期累計 (2008.4.1~2008.9.30)	2008年度通期 (2008.4.1~2009.3.31)
売上高	202,065	256,643	517,262
営業利益	▲2,354	5,613	12,808
経常利益	▲3,672	3,822	371
税金等調整前四半期(当期)純利益	▲3,022	2,693	▲3,165
四半期(当期)純利益	▲3,930	554	▲5,654
純資産	146,795	172,237	144,159
総資産	462,950	523,851	473,376
一株当たり: 四半期(当期)純利益(円)	▲11.73	1.65	▲16.87

セグメント別

(百万円)

	2009年度 第2四半期累計 (2009.4.1~2009.9.30)	2008年度 第2四半期累計 (2008.4.1~2008.9.30)	2008年度通期 (2008.4.1~2009.3.31)
事業別:			
売上高			
タイヤ	156,026	193,825	399,728
MB	46,038	62,817	117,534
営業利益			
タイヤ	▲2,547	3,200	9,890
MB	174	2,742	3,418
消去	18	▲329	▲500
所在地別:			
売上高			
日本	140,553	179,584	359,318
北米	40,499	50,333	101,789
アジア	9,642	12,203	23,639
その他	11,369	14,521	32,514
営業利益			
日本	94	1,573	4,441
北米	▲900	1,967	4,036
アジア	476	1,544	1,994
その他	▲55	551	1,542
消去	▲1,969	▲23	792

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。アジアはフィリピン、タイ、中国、台湾。その他は欧州、大洋州。